



共感できる子

考動できる子

やり抜く子



TAMAMIZU

Elementary School

冬休み前全校集会 ～後期前半を振り返って～ 校長講話より

みなさん、おはようございます。

十二月に入り、随分寒くなりましたね。しかし、その寒さに負けず、毎朝元気に登校してくるみなさんの姿をみて、さすが玉水小学校の子どもたちだと思いました。

今日で後期の前半が終わります。四月から一二月までで一四九日、みなさんは学校にきました。

九月から十二月まで、たくさんの学校行事の中で「共感力」「考動力」「やる抜く力」をつけたみなさんの姿がたくさん見られました。

「たんぽぽ集会」では、困っている友だちの考えを聞き、何とか勇気づけよう、元気づけようとたくさんの人達が自分の思いを発表してくれました。共感する力がついてきたなど感じた行事でした。

「無言掃除」週間では、どうしたらきれいになるかを一人一人が考えて、無言で掃除する人がたくさんいました。自分で考え、考動できていました。

「持久走大会」とそれに向けた練習では、走ってきつくなっても歩かず、最後まで走り抜く人がたくさんいました。自分の目標タイムを大幅に更新した人がたくさんいました。自分の記録に一生懸命に挑戦し、最後までやり抜こうとする姿がたくさん見られました。

十二月だけでも、これだけ素晴らしい姿が見られました。玉水小学校のみなさんは、こんなことができる素晴らしい心と心を大きくしていきます。来年もそんな素晴らしいおととい十二月二十二日は冬至でした。そして、いよいよ明日から冬休みです。

みなさんは、どんな冬休みのめあてを立てましたか。学習、生活、運動と、立てためあてを達成できることを期待しています。そして、何より家族との時間を大切に、楽しい冬休みを過ごしてください。

それでは、来年の一月七日には、全員揃って元気なみなさんと会えることを願っています。



「たんぽぽ集会」(人権集会) ～自分の思いを発表しました～

11月の人権学習をさらに深め、身の回りのいじめや差別について各学級で話し合いました。たんぽぽ集会ではそのことを発表し、差別やいじめをなくすには、どうしたらいいかを考える大事な機会にすることができました。たんぽぽ集会の最初に、『ひとつのことば』の詩を一緒に音読しました。言葉が心を動かす力になっています。



『ひとつのことば』 北原白秋

ひとつのことばで けんかして
 ひとつのことばで なかなか
 ひとつのことばで 頭がさがり
 ひとつのことばで 心が痛み
 ひとつのことばで 楽しく笑い
 ひとつのことばで 泣かされる
 ひとつのことばで それぞれに
 ひとつのことばで 持っている
 ひとつのことばで きれいな心
 ひとつのことばで やさしい心
 ひとつのことばで 大切に
 ひとつのことばを 美しく

入賞おめでとう！ ～まだまだ続く入賞者～

作品展やコンクールの入賞が続きます。1年のA君は文部科学大臣賞というすごい賞です。3人とも素晴らしい結果でした。よく頑張りました。

JA 書道展

「条幅」【文部科学大臣賞】1年A君

西日本読書感想画コンクール

【入選】3年Bさん 6年Cさん

年間読書冊数 9000冊 10000冊突破



11月28日に9000冊目の本を6年生のR君が、12月17日に1年生のK君が10000冊目の本を借りました。ついに10000冊の大台を超えました。